

いのちのリレー

—鎌田實氏「アハメドくんのいのちのリレー」より—

補作詞・曲 永松英利

Am 3 G 3 Am 3 G 3 Am

あるひしょうねんは— じゅうでうたれた てきのへいしに うたれてしんだ
いしよくさ—れた— しょうじよはいった いしゃになるのが ゆ—め—なの

5 F 3 G 3 F 3 G 3

そのときちちおやは— あいするわがこの— しんぞうをてきこくの びょうきのこにあたえたので
いしやな—ってたくさんの ひとのいのちすくうの へいわのためはたらき つづけていきた— い

9 Am Am 3 G 3 Am 3 G 3 Am

す そのけつだんは へいわのじつげん のぞむかれらの シグナルだった
と しょうねんのいのち ふたたびさいた もうひとつの いのちの—はな

15 F 3 G 3 F 3 G 3

しょうねんのいのち— わずかじゆうにねん— だけどつながれていく キセキのいのちの—りーレ
しょうねんのみらいは— たちきられたけれども しょうじよがうけとり— ゆめへむけてはしりだ—し

19 Am Am 3 G 3 Am 3 G 3 Am

—た かれはそ—つと つ—ぶや—いた かなしみにくしみ— よこにおけば いい
た かれのこうどうは ばくだん—より はるかにおおきな— しょうげきあたえた

25 F 3 G 3 F 3 G 3

うみでおぼれてるのに こくせきはみんな— しゅうきょうはなんて— だれもきかないで—しよ
ぶりよくではなにも— なにもかえられない— ほうふくはにくしみの れんさをうみだす—だ

29 Am E7 Am G Am F 3 E7

う け ふ た—つの く—に—を—へん—だ—て—る—
け ひ と—の—の—こ—こ—ろ—に—は—ど—ん—な—に—ひ—ど—ら—く—
た—ち—あ—が—れ た—ち—あ—が—れ ど—ん—な—に—つ—ら—い—

34 3 Am G Am

きよ だ い な—か—べ—に—く—し—み—と—か—な—し—み—が—
だずと が あ—て—も た—し—あ—ん—ろ—う—と—す—る—き—し—も—ち—
きこ と が あ—て—も た—し—あ—ん—ろ—う—と—す—る—き—し—も—ち—
きこ と が あ—て—も た—し—あ—ん—ろ—う—と—す—る—き—し—も—ち—

37 F 3 E7 Am

つ も り つ も つ た—ぶ—あ—つ—い—か—べ—
う み だ し て っ ち—ち—あ—つ—い—か—べ—
ひ と の こ こ ろ の ぬ—あ—つ—い—か—べ—
ひ と の こ こ ろ の ぬ—あ—つ—い—か—べ—